



## 2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月5日

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <https://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成宮 正一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部担当 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 2024年7月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,173	13.2	198	62.5	206	66.2	142	112.8
2024年2月期第1四半期	1,036	18.6	121	24.4	124	23.0	66	36.1

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 143百万円 (112.7%) 2024年2月期第1四半期 67百万円 (35.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	3.27	
2024年2月期第1四半期	1.53	

(注) 2024年2月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期第1四半期会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	4,252	3,347	78.7	76.71
2024年2月期	4,447	3,465	77.9	79.44

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 3,347百万円 2024年2月期 3,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		6.00	6.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,294	13.7	262	24.2	272	31.5	196	49.8	4.50
通期	4,705	13.7	339	25.7	344	24.6	228	23.7	5.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年7月5日)公表いたしました「2025年2月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	45,950,238 株	2024年2月期	45,950,238 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	2,317,701 株	2024年2月期	2,317,601 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	43,632,570 株	2024年2月期1Q	43,645,614 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日~2024年5月31日)におけるわが国経済は、世界的な金融引締めの影響等による海外経済の下振れがわが国の景気を下押しするリスクになりうるほか、物価上昇や海外情勢、金融資本市場の変動等が経済に与える影響に十分注意する必要があります。不動産市場については、全国住宅地の価格の上昇等はあるものの、住宅取得の支援制度の充実、金融緩和政策の維持、及びテレワークの普及等により住宅取得ニーズは高い状況が続いております。

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間においては、金融機関の積極的な住宅ローンの取り組みを受け金融ソリューション事業の各種サービス利用件数が引き続き好調に推移いたしました。また、不動産ソリューション事業においても不動産取引の非対面決済サービス「H'OURS(アワーズ)」の利用件数及び不動産調査・評価サービスの受注も増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,173,482千円(前年同期比13.2%増)、営業利益は198,140千円(前年同期比62.5%増)、経常利益は206,686千円(前年同期比66.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は142,471千円(前年同期比112.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

### (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業においては、主に金融機関に対し、住宅ローンに係る事務及び相続手続きの利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。取引関係者に対し不動産取引に係る受発注管理、進捗管理及び品質管理等に資するクラウドシステム「EPS(EAJ Platform System)」を通じてサービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託における信託サービス、相続手続き代行サービスでは決済の安全性確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主に金融機関の住宅ローン取扱い件数が好調であったことに伴う各種サービス利用件数の増加により増益となりました。

以上の結果、セグメント売上高は574,143千円(前年同期比30.4%増)、セグメント利益は298,158千円(前年同期比42.3%増)となりました。

### (不動産ソリューション事業)

不動産ソリューション事業においては、主に不動産事業者に対し、不動産取引の非対面決済サービス「H'OURS」を提供する等取引の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託では、主に税理士等の士業からの相談に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産オークション取引の機会を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、不動産市況高騰の影響等により不動産オークション取引の成約及び決済時期に遅れが見られるものの、「H'OURS(アワーズ)」の利用件数は引き続き好調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は181,808千円(前年同期比5.8%減)、セグメント利益は10,097千円(前年同期比65.8%減)となりました。

### (建築ソリューション事業)

建築ソリューション事業においては、主に建築事業者に対し、現場管理及び建築確認・申請業務等の利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社中央グループでは、建築事業者に対し建築の申請から各種申請用図面の作成、検査・アフターフォローまでワンストップでトータルサポートを行う住宅建築支援ツール「ARCHITECT RAIL(アーキテクト・レール)」の提供を行うとともに、測量、建築設計等の専門サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、建築事業者からの敷地調査業務の受託件数、及び設計サポートサービスが堅調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は213,230千円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は23,643千円(前年同期比7.3%増)となりました。

(土業ソリューション事業)

土業ソリューション事業においては、主に不動産取引に関わる土業に対し、業務の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社サムポローニアでは、主に登記申請に関連する分野において、オンライン申請機能や情報管理機能など多様な機能を有する「サムポローニアシリーズ」を通じて、土業へサービスを提供しております。また、マイナンバーカードを利用した本人確認及び電子署名を可能とする「サムポロトラスト」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力商品であるサムポローニアシリーズが堅調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は202,146千円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は15,768千円（前年同期比338.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,199,441千円となり、前連結会計年度末と比較して254,717千円の減少となりました。これは主に、売掛金が83,195千円増加となった一方で現金及び預金が356,233千円減少したことによるものであります。固定資産は1,052,839千円となり、前連結会計年度末と比較して59,211千円の増加となりました。

以上の結果、総資産は4,252,281千円となり、前連結会計年度末と比較して195,506千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は818,194千円となり、前連結会計年度末と比較して72,547千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が66,129千円減少したことによるものであります。固定負債は86,868千円となり、前連結会計年度末と比較して4,202千円の減少となりました。

以上の結果、負債合計は905,063千円となり、前連結会計年度末と比較して76,750千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,347,217千円となり、前連結会計年度末と比較して118,756千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が142,471千円であった一方、剰余金の配当が261,795千円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は78.7%（前連結会計年度末は77.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ2024年4月5日公表の第2四半期累計期間の業績予想を上方修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、2024年4月5日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました前回業績予想から変更はありません。

詳細につきましては、本日別途開示の「2025年2月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,809,180	2,452,946
売掛金	617,544	700,739
その他	173,504	182,713
貸倒引当金	△146,069	△136,958
流動資産合計	3,454,158	3,199,441
固定資産		
有形固定資産	129,638	127,773
無形固定資産	464,484	513,916
投資その他の資産	399,505	411,149
固定資産合計	993,628	1,052,839
資産合計	4,447,787	4,252,281
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108,901	119,833
未払法人税等	100,226	34,097
賞与引当金	97,605	53,151
その他	584,008	611,112
流動負債合計	890,742	818,194
固定負債		
資産除去債務	41,504	41,504
その他	49,566	45,363
固定負債合計	91,071	86,868
負債合計	981,813	905,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	676,677	676,677
資本剰余金	791,517	791,517
利益剰余金	2,544,510	2,425,185
自己株式	△548,271	△548,271
株主資本合計	3,464,433	3,345,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,833	2,802
為替換算調整勘定	△1,293	△693
その他の包括利益累計額合計	1,540	2,108
純資産合計	3,465,974	3,347,217
負債純資産合計	4,447,787	4,252,281

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,036,959	1,173,482
売上原価	546,534	606,456
売上総利益	490,425	567,026
販売費及び一般管理費	368,487	368,885
営業利益	121,937	198,140
営業外収益		
受取利息	1	4
受取賃貸料	9,312	9,910
雑収入	405	7,134
その他	264	176
営業外収益合計	9,984	17,226
営業外費用		
支払利息	135	137
賃貸費用	7,116	8,392
その他	276	150
営業外費用合計	7,528	8,680
経常利益	124,394	206,686
税金等調整前四半期純利益	124,394	206,686
法人税、住民税及び事業税	27,577	33,313
法人税等調整額	29,849	30,901
法人税等合計	57,427	64,215
四半期純利益	66,966	142,471
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,966	142,471

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	66,966	142,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	△31
為替換算調整勘定	—	599
その他の包括利益合計	296	567
四半期包括利益	67,263	143,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,263	143,039
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1・ 2・3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	金融ソ リ ユ ー シ ョ ン	不動産ソ リ ユ ー シ ョ ン	建築ソリ ユ ー シ ョ ン	士業ソリ ユ ー シ ョ ン	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440,224	193,012	204,000	196,966	1,034,204	2,755	1,036,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	950	2,379	3,343	△3,343	—
計	440,238	193,012	204,950	199,346	1,037,548	△588	1,036,959
セグメント利益	209,592	29,536	22,037	3,594	264,760	△142,822	121,937

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額2,755千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△3,343千円はセグメント間取引の消去であります。
3. セグメント利益の調整額△142,822千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。
5. 2024年2月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1・ 2・3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	金融ソ リ ユ ー シ ョ ン	不動産ソ リ ユ ー シ ョ ン	建築ソリ ユ ー シ ョ ン	士業ソリ ユ ー シ ョ ン	計		
売上高							
外部顧客への売上高	574,143	181,808	213,230	202,146	1,171,329	2,153	1,173,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	7,452	7,458	△7,458	—
計	574,149	181,808	213,230	209,598	1,178,787	△5,304	1,173,482
セグメント利益	298,158	10,097	23,643	15,768	347,667	△149,526	198,140

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額2,153千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△7,458千円はセグメント間取引の消去であります。
3. セグメント利益の調整額△149,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、報告セグメントを従来「エスクローサービス」、「BPO」、「不動産オークション」の3区分としておりましたが、当社グループの事業展開、経営資源配分・管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて検討した結果、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「金融ソリューション事業」、「不動産ソリューション事業」、「建築ソリューション事業」、「士業ソリューション事業」の4区分に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(企業結合等関係)

前第2四半期連結会計期間において、2022年10月1日に行われた株式会社日立ソリューションズ・クリエイトからの事業譲受について、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。